

網走湾で上位蜃気楼の常識を覆す

～標高約 200m 天都山より知床半島方向に上位蜃気楼を確認～

北海道・東北蜃気楼研究会 星弘之

1.はじめに

過去の研究発表会に於いて高さ 13.5m に無人カメラを設置して猪苗代湖での発生状況と気象について発表をした。その時「なぜ 13.5m 魚津では海岸で 1m 違うと見えたり見えなかったりする。」との質問と意見あった。魚津埋没林博物館 HP では『**「蜃気楼を見るなら海岸で」**・・・蜃気楼は光の微妙な屈折による現象で、それを観察できる高さの範囲は狭い。逆転層の高さもおおむね 10 m 以下・・・高い展望台などにも上っても望みはかなわない場合が多い。対象物までの距離が**十分に遠い場合は、多少高い位置からでも観察できることがある。**』とある。過去には、標高約 22~95m でも観測・撮影した実績があり、それよりも高い位置での観測・撮影を狙っていた、2024年の3/24と3/28に標高約 200m より観測・撮影に成功したので紹介する。

2.過去に観測・撮影した場所と標高

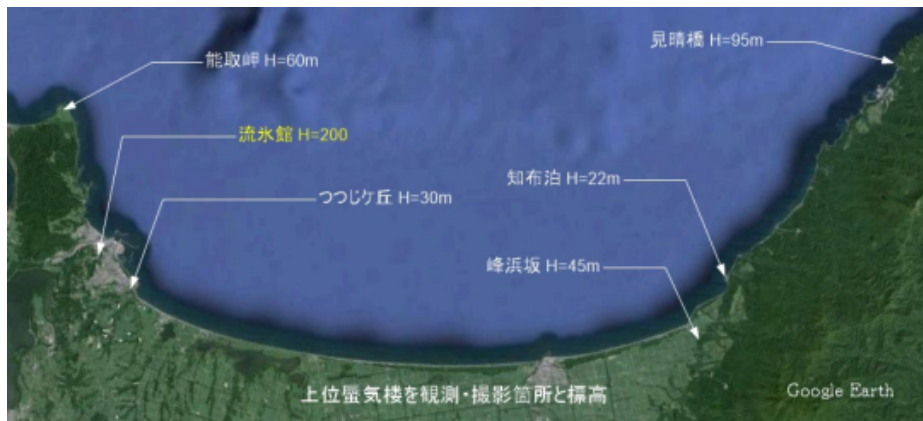


図 1



図 2 見晴橋より H95m 地点



図 3



図 4 峰浜の坂より H=46m 地点



図 5

3. 標高約 200m よりの撮影状況と撮影できた上位蜃気楼

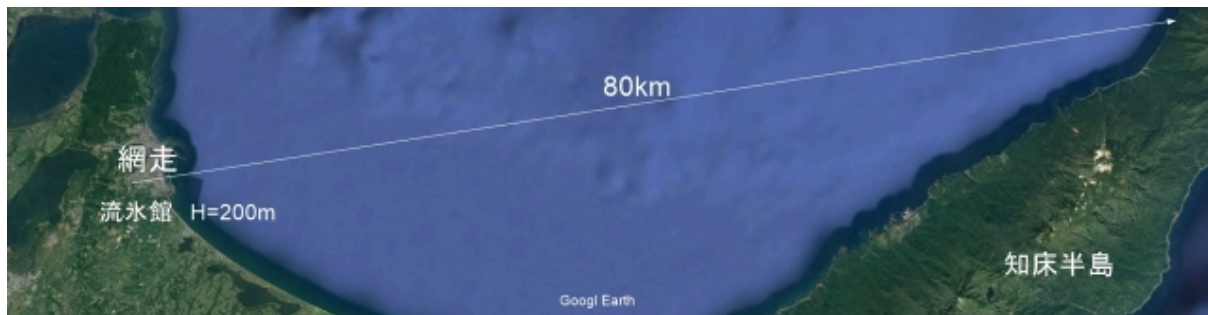


図 6

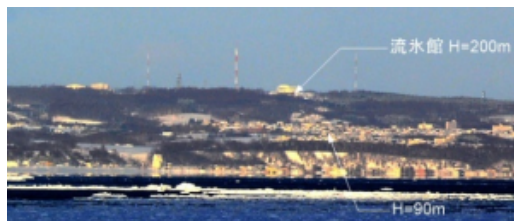


図 7 流水館の位置



図 8 撮影状況

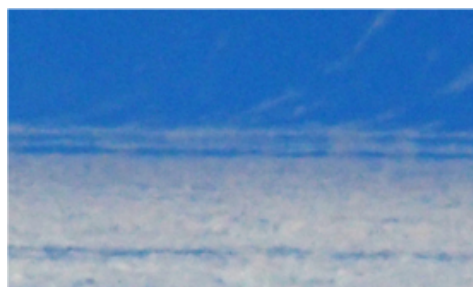


図 9 2024/03/28 上位蜃気楼



図 10 2020/03/29 上位蜃気楼

※図 10 は明確に上位蜃気楼と判断でき、図 9 にも同様に白い二本の横筋がある。

4. 標高 200m 以上の高所よりの観測・撮影

2019年に紋別市「カニの爪(オブジェ)」標高 5.4m より 130km 離れた斜里町海別岳の上位蜃気楼を撮影している。また、同年に周辺でも上位蜃気楼を確認、標高 334m の紋別市「オホーツクスカイタワー」でも可能性は十分あると推測する、機会があれば挑戦してみたい。

5. おわりに

上位蜃気楼を見たいと思うと海岸線を中心に構造物の変化を素早く見つけ大きく変化することを期待し待つというのが一般的だろう。過去の経験から遠くの山の稜線の変化する様子や海面の波が変化するものを見てきた。常識を離れ、見方を変えると新しい蜃気楼が見えてくる。海面が上位蜃気楼化して縦筋の帯が出来ているところに太陽光が射すと色が付く場合があることが分かった。その他にも波からの光の反射が分散して発色するという事に出会った。原因究明はこれからになるが、究明できなくても多くの事例を観測・撮影して次世代に繋げたい。

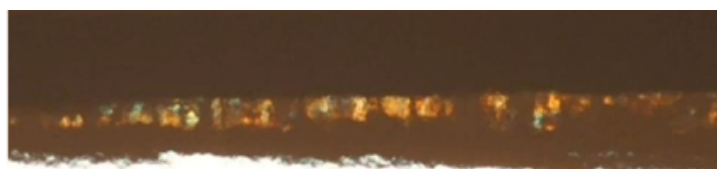


図 11

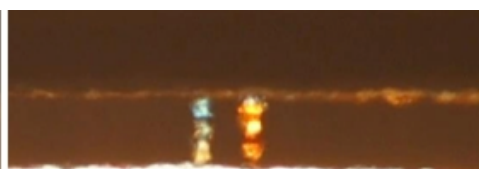


図 12